

令和元年度 中学生の「税についての作文」 優秀作品紹介

11月16日、令和元年度中学生の「税についての作文」表彰式が玉名市で開催されました。

今年度は荒尾玉名地域の中学生3,933人から1,496編の応募があり、和水町から5人の生徒の作品が優秀作品に選ばれました。また、「税についての作文」の募集について、特に協力が顕著な中学校として三加和中学校に全国納税貯蓄組合連合会から作文募集推進校感謝状が贈られました。



- ＊玉名税務署長賞……………有働 若菜（菊水中学校3年）
- ＊玉名地区租税教育推進協議会会長賞……………坂口 輪花（菊水中学校3年）
- ＊和水町長賞……………田川 響己（菊水中学校3年）
- ＊和水町教育長賞……………相澤由依子（菊水中学校3年）
- ＊玉名間税会会長賞……………鍋島 彩里（三加和中学校1年）
- ＊全国納税貯蓄組合連合会 作文募集推進校感謝状……………三加和中学校

風船を飛ばしたよ 「人権の花」運動終了式

11月21日、人権の花運動の終了式と風船飛ばしが三加和小学校（全校児童158人）で行われました。終了式では、くまもと県北人権啓発活動地域ネットワーク協議会が、この運動に取り組んだ同小に感謝状と記念品を贈呈し、児童が取り組みの感想などを発表しました。その後、運動場で、6月の伝達式で植えた苗を大切に育てて咲かせた花の種とメッセージを付けた願いのこもった風船を大空に飛ばしました。児童らの顔に、花の栽培をやり遂げた満足感や花の種を収穫した喜びがあふれていて、とてもすてきな終了式でした。



①感謝状と記念品の贈呈
②風船飛ばしのようす
③なごみんと人KENまわるくんと記念撮影



笑顔満載

青年団ウォークラリー大会

11月24日、青年団ウォークラリー大会が三加和公民館で開催されました。このイベントは、青年団が地域貢献活動の一環として行っているイベントで、今年で21回目となります。当日はあいにくな天気でしたが、68チーム、約270人が参加し、〇×クイズや魚釣りゲーム、サッカー盤ゲームなどを楽しみました。大会終了後には、地元の野菜などを使ったカレーが振る舞われ、参加者は家族や友人らと一緒に楽しいひとときを過ごしました。



魚釣りゲームを楽しむ参加者

地域の緑化活動推進

荒玉地域みどり推進植樹のつどい

11月26日、神尾保育園で荒玉地域みどり推進植樹のつどいが開催されました。地域の人々（保育園ボランティアの会、地域おこし協力隊、青年団）と年長児17人が、植樹を行いました。オリーブの木と常緑ヤマボウシを記念植樹し、ドウダンツツジを一般植樹しました。

園児は、楽しそうに植樹していて、園児がみどりと触れ合う活動に興味を持つきっかけにもなりました。この植樹祭は、きっと園児らの思い出に残ることでしょう。



参加者全員で記念撮影

玉名税務署長賞



菊水中学校 三年
有働 若菜

『「税金」のありがたみ』

私が税について知ったのは小学生の頃である。地域の祭りで、小中学生一人当たりの町が負担している教育代を入れたケースを持ったことがきっかけで、「税」について考えるようになった。「税」というのはたくさんの種類がある。その中でも、「学校」を例に考えてみよう。

私たちは学校に通っている。お金を払わずに学校へ通っていることは知っていた。学校へ通うのが当たり前だと思っていた。しかし、それは違う。世界には学校へ通えない子どもたちもいる。私たちは「税金」というお金で学校へ通えている。このことを知ったのは、小学校高学年の頃だろう。今までタダで学校へ通うのが当たり前だと思っていた自分が恥ずかしくなった。学校に行くのが嫌だな、と思った自分はなんて失礼なのだろう。そう思った私は、初めて「税金」のありがたみを感じた。中学校へ入学して通えている

のも、「税金」のおかげ。中学校へ入学してから、さらに「税金」のありがたみを感じるようになる。中学校で、改修工事が行われた。長期休みの間に、教室がきれいになった。床も壁も、校舎ごと立て直したかのようにピッカピカだった。それも「税金」のおかげ。電気が工事前に比べて明るくなった。冷暖房もついた。これも「税金」のおかげ。私は吹奏楽部に入っているが、部活動で楽器が使えるのも、「税金」のおかげ。学校内のさまざまなところで「税金」が使われている。「税金」のありがたみを知ってから、学校へ通うときの気持ちが変わった。通えない人がいることを忘れずに、「税金」を納めてくださっている全ての納税者の方に、感謝の気持ちを持って、学校へ通うようにする。勉強するにあたって、最高の環境を作っていた自分、より勉強に力を入れ、集中して取り組む。そして、これから、何となく過ごすのではなく、ありがたみを理解して過ごすことが大切だ。今年で義務教育が終わり、高校生になったら、自分でお金を払うことが普通になってくる。きっと、「税金」のありがたさをさらに感じるようになるだろう。

最後に、これからは私たちが「税金」を納める立場である。自分の夢を叶え、よき納税者になりたいと思っています。